

日本造血・免疫細胞療法学会  
 移植認定診療科責任医師 各位  
 非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞採取認定施設  
 採取責任医師 各位

(公財) 日本骨髄バンク

## 採取時の末梢血採血管ラベルの配布について (通知)

平素より骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

過日、生着確認用のドナー末梢血検体の取り違い事例が移植施設より報告されました。原因特定は困難であったものの、移植施設における外注検査提出時または検体一部保存前に取り違いが発生した可能性が否定できませんでした。※(別紙)安全情報 参照

今般、取り違い防止等にお役立ていただけるよう、採取時の末梢血採血管へ貼付用のラベルを採取施設に配布することといたしました。採取施設におかれましては、下記ご対応くださいますようお願い申し上げます。

### 記

1. 運用開始日：2022年10月3日以降に採取決定した施設から適宜配布します。
2. 配布方法：採取施設へ送付する「採取に関わる書類」に同封します。現在配布の採取バッグラベル(3枚)に加え、末梢血採血管ラベル(3枚1セット)を配布します。
3. 使用方法
  - (1) 採取施設において、末梢血採血管ラベルにドナーIDを記入して採血管に貼付してください。詳細な運用手順は施設内でご確認ください。
  - (2) 採取バッグ等と採血管ラベルを貼付済の末梢血採血管を運搬担当者へ渡してください。
4. 注意点
  - ・採取バッグや末梢血採血管にドナー氏名等の個人情報は記載しないでください。
  - ・受け渡し時、採取施設および運搬担当者相互で、採取バッグや検体ラベルの記載内容が適切であることをご確認ください。

以上



### <末梢血採血管ラベル>

採取施設でバンクドナーIDを記載してご使用ください。

 日本骨髄バンク	
採取施設記入欄	
ドナーID:	.....
血液型:	..... Rh: .....
採取日:	.....年.....月.....日
採取終了時間:	午前/午後.....:
<input type="checkbox"/> 骨髄液 <input type="checkbox"/> 末梢血幹細胞(.....日目採取分) <input type="checkbox"/> DLI	
移植施設記入欄	
患者ID:	.....
血液型:	..... Rh: .....

### <採取バッグラベル>

【お問い合わせ先 (公財) 日本骨髄バンク ドナーコーディネート部：03-5280-2200】

2022年6月17日

日本造血・免疫細胞療法学会  
移植認定診療科責任医師 各位

(公財) 日本骨髄バンク医療委員会

## 生着確認用ドナー末梢血検体の取り違い事例 について

拝啓 日頃より骨髄バンク事業にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年 4 月、生着確認用のドナーの末梢血検体の取り違いがあったと移植施設から報告がありました。今回取り違いが生じた原因は不明ですが、末梢血検体の取り違いは、重大な問題となる可能性がありますので、注意喚起の観点から情報共有いたします。

各施設におかれましても検体到着時のドナーID の確認および検査・保存までの手順について今一度、再確認していただきますようお願い申し上げます。

敬具

### <経緯>

#### 移植前

- ・採取施設に EDTA-2Na 採血管にドナー末梢血検体採取 (2 本) を依頼。  
用途：血液型確認用と生着確認用 (HLA、性別一致の移植のため STR での生着確認を予定)
- ・採取施設 HCTC が末梢血スピッツに JM DP ドナーID のみを手書きしたラベルを貼付して準備し、病棟 Ns と HCTC で確認 (採取当日も病棟 Ns が再確認した上で手術室担当看護師に手渡した)。

#### 骨髄採取当日

- ・採取施設では手術室にドナー入室後、麻酔用の末梢ルート確保時に末梢血を採取。  
採取終了後、骨髄液と末梢血検体を HCTC と採取担当医が輸血部へ持参。運搬者とともに確認し引き渡した。
- ・骨髄液と末梢血検体が移植施設に到着。末梢血検体にはドナーID 記載のラベルが貼付されていた。
- ・末梢血検体 1 本は移植施設で血液型確認を行ない、ドナーの血液型と矛盾はなかった。もう 1 本については採取施設貼付のドナーID ラベルを移植施設の外注検査提出用ラベルに貼り替え、外注検査に提出。
- ・検体量が十分あったため一部を DNA 保存。

#### 生着確認時

- ・増殖してきた成分の STR パターンがドナー検体として提出されたものと整合性がない、と検査会社から報告。
- ・院内に保存してあった DNA を用いた再検査も同様の結果であり、外注検査受付提出及び一部保存の前に、検体の取り違いが発生した可能性を否定できない。

### <問い合わせ先>

(公財) 日本骨髄バンク 移植調整部

TEL 03-5280-4771 / FAX 03-5280-3856